

第106回全国高等学校野球選手権大会 出場記念

文武不岐

2024・甲子園

夏



栃木県立石橋高等学校



学校紹介

1924年、県内8番目の旧制中学「石橋中学校」として開校し、48年から現校名。「石高(いしこう)」の愛称で親しまれている。共学の進学校で、毎年多数の生徒が現役で国立大学や難関私立大学に合格している。野球部は35年創部。2023年、第95回記念選抜高等学校野球大会に21世紀枠で甲子園初出場を果たした。他の部活動も盛んで、22年度は陸上部が全国大会に、ハンドボール部・テニス部・吹奏楽部が関東大会に出場。歴史研究部は21年、全国大会で最優秀賞を受賞した。幅広い分野で活躍する卒業生を数多く輩出している。

栃木県立石橋高等学校 校歌

作詞 土岐 善磨
作曲 信時 潔

- 一、二荒のいただき 残雪かすみ
校庭あかるく 桜咲けり
はるかにそびゆる 富士の高嶺
春なり真理の ひかり仰げば
あふるるよろこび 希望は胸に
- 二、注ぐや鬼怒川 平野の風に
林は色づき 星は澄めり
栃の葉かざして 常に共に
秋なり友情を 深く正しく
踏みしめゆくべし 自由の道を
- 三、知性のひとみの かがやくところ
勤労ひとしく 時は待てり
われらは世界の 中にありて
新たに使命を 負へるものと
石橋高校 こぞりてここに
われらは立てり 石橋高校

